



市報

やまぐち

 <http://www.city.yamaguchi.lg.jp/>

 <http://www.city.yamaguchi.lg.jp/keitai/index.html>

 koho@city.yamaguchi.lg.jp

和田健さんが語る
「私と山口ゆかりの文学者たち」

P.2

地域で
輝くひと

伊藤貴子さん

きららふれあいサポーター

(説明は裏表紙)

2007 9.1

September
No.46

和田健さんが語る

私と山口ゆかりの

文学者たち

明治から昭和にかけて、現在の山口市は、近代文学に大きな足跡を残した文学者たちを輩出しました。自身も詩人として活躍し、種田山頭火などとも親交のあった和田さんに、当時の貴重なお話を伺いました。

問い合わせ 市広報広聴課(☎083-1934-2753)



昭和13年11月中原中也の生家にて。前列中央が種田山頭火。後列左から中也の夫人孝子さん、中也の母フクさん、和田健氏、福富忠雄氏(山口県詩選の編集者)

文学の出発点、嘉村磯多

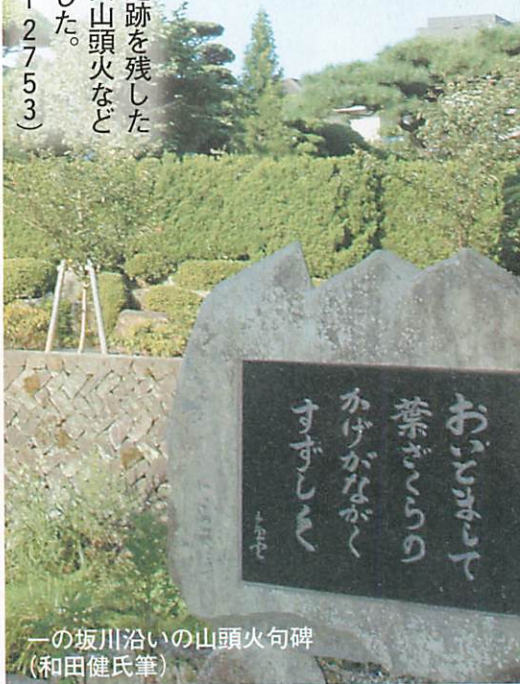
15歳のときに投稿した詩が新聞に掲載されたのをきっかけに、以来、詩を書き続けています。そのころ「中央公論」などの一流雑誌に掲載されていた現在の山口市出身の作家嘉村磯多の作品に心惹かれました。その磯多の作品のヒロインだった、夫人のちとせさんが、彼の死後、山口に帰ってきていると知り、彼女を訪ねました。その折、押入れからあふれている収納しきれないほどの磯多の蔵書を見て、彼の文学への傾倒と努力を感じました。



嘉村磯多

山頭火の句と酒

山頭火に「松尾芭蕉と小林一茶どちらの句が好きか」と尋ねたことがありますが、私は簡素な言葉を綴る彼の句の印象から「一茶」という答えを期待していましたが、しばらくあごひげをなでた後、彼は「和田君、僕は芭蕉だよ」と答



一の坂川沿いの山頭火句碑 (和田健氏筆)

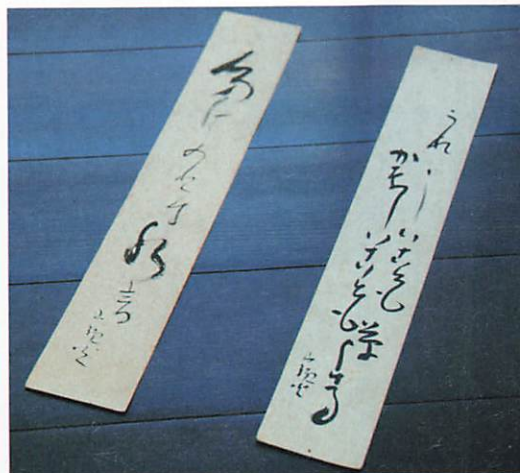
えました。最近の評論でも、山頭火を「昭和の芭蕉」という評論家は多いですね。山頭火といえば酒好きで有名ですが、日中戦争下の昭和13年、当時の八百百貨店(現在のちまきや)の食堂で行われた「山口県詩選」の出版記念会で、こんなことがありました。私の隣に座っていた山頭火は、たびたび会場を抜け出していました。向かいの酒屋で酒を飲んでいました。いわく「いかに非常時とはいえ、僕がガソリンだけは許してくれたまえ」。彼は、そんなユーモアだけでなく、鋭い観察眼も併せ持ち、自然だけでなく人間もよく観察していて、私たちと酒を飲んだときも、我々の酔った様子を日記に詳細に書き残していました。

山頭火の思い出の品

山頭火から、短冊を2枚もらいました。仁保の「犬鳴の滝」前の「分け入れば水音」の句碑の文字は、この短冊の1枚を拡大したものです。



種田山頭火



山頭火直筆の短冊(和田健氏所有)
右「うれしいこともかなしいことも 草しげる」
左「分け入れば水音」

中原家と山頭火

中原中也と直接会う機会はありませんでしたが、その弟の思郎・呉郎・拾郎とは付き合いがあり、詩の仲間だった

山頭火は短冊を書くのも大変慎重で、この短冊を書くのにも10枚くらい書き直しています。後世に残ることを考えていたのかもしれない。ただ、私から山頭火に短冊を頼んだことはありません。もらえば、酒の一升もあげないといけませんから、もらわない方がよいと思っていたほです(笑)。こんなに有名になると分かっていたら、もっと書いてもらってあげばよかったですね。

ある日突然、山頭火が私の職場を訪れ「これをおんたにあげよう」と、いつも履いていた地下足袋と愛用の古びたアルミ鍋を置いていきました。戦争で物の少ない時期でしたから、地下足袋は私が履きつぶし、鍋は金属回収に出したので手元に残っていません。山頭火はその後、四国で亡くなったので、それが今生の別れになりました。



和田健(わだ たけし)さん

宮野在住 92歳 詩人。

「山頭火の話」、詩集「へその耳」など著書多数。市役所在職中は、数多くの文学碑の建立にも携わる。

現在、山口県詩人懇話会顧問。

中原中也のこと
中也に抱くイメージは人それぞれでしょうが、彼と親交のあった大岡昇平

呉郎の影響で、山頭火との付き合いも始まりました。山頭火も呉郎を息子のようにかわいがり、とても仲が良かったものです。また当時の中原家は、湯田の文学サロンのようになっていて、母のフクさんも私たちを息子の友人として歓迎してくれました。「山口県詩選」の発行の後、私たちは中也の一周忌の機会に「詩園」という同人誌を作り、その遺作を掲載し、研究を始めました。当時中也の研究を始めたのは、我々が初めてだったのではないのでしょうか。山頭火とはよく一緒に酒を飲み、酔った山頭火が呉郎の布団にもぐりこんで寝てしまうこともありました。山頭火が、呉郎に「お母さんに肝をやかせんと(心配をかけないで)立派な医者になりなさいよ」と言っていたのが印象的でした。

最初に作った中也の詩碑は、高田公園のもので、地元のみなさんのほか、東京の大岡昇平氏のご協力もあり、無事

市役所在職中は、中也をはじめ、磯多や山頭火、若山牧水の文学碑の建立にも携わりました。

数々の文学碑に携わって

中也の東京での詩作の様子について拾郎が語っていたのですが、中也は畳の上で寝転がって天井を見つめてタバコを吹かし、じっと目を閉じて詩の言葉を選んでいったそうです。それなのに、拾郎には「お前もつとまじめに勉強しろよ」と説教していたらしいですよ(笑)。

氏は、後に私に「中也は怖かった。だから僕は東京から京都の大学に変わったんだ」と語っています。ただそうした厳しい面だけでなく、優しい面もありました。中也の長男文也が亡くなったときの詩は今も胸を打ちます。



中原中也

完成させることができました。除幕式には、大岡氏や小林秀雄氏、河上徹太郎氏など、昭和文壇の大御所が列席し大変にぎやかでした。特に東京で資金集めにご苦労いただいた大岡氏は、詩碑の完成を大変喜んでくれました。この時、大岡氏が書いた碑の説明文中の現代仮名遣いが「カ所聞違つていて」「どうして直さなかった」と怒られてしまいました。あんな大作家でも、そんな間違いをするものなんですねえ。

これまでを振り返って

私の人生は、詩と大切な伴侶(奥様)とともにあります。趣味・生きがいを持ち、良き伴侶と過ごすことが長生きの秘訣だと思っています。

中也とは詩も生き方も違うので、自分と比べるのは無理ですが、彼はやはり天才だと思います。同じ詩を書く身として、彼のような詩はなかなか書けるものではないですね。山頭火とは、一緒に酒を酌み交わしたこともあったか、身近に感じます。文学者としても一番影響を受けました。私が文学を志すきっかけとなった磯多も、今は中也や山頭火ほどの知名度はありませんが、その優れた作品は永遠に読み継がれ、再評価されると信じています。山頭火だけでなく磯多や中也など、山口には偉大な文学者たちの息吹が今も残っています。みなさんにも、そうした郷土の文化に関心を持っていただきたいですね。またこれからも、こうした機運を盛り上げていきたいものです。

文中に登場する文学者など

【嘉村磯多(1897~1933)】

仁保出身。反プロレタリア文学のグループに属し、その作品は「私小説の極北」と称される。代表作は「業苦」「崖の下」

「途上」など。

【種田山頭火(1882~1940)】

防府市出身。行乞の旅の中、自由律俳句を作り続ける。昭和7~13年に小郡

「其中庵」、その後は湯田「風来居」に住み、昭和14年、四国松山へ旅立つ。

【中原中也(1907~1937)】

湯田出身。近代を代表する叙情詩人。生家跡は中原中也記念館となっている。

著書に「山羊の歌」「在りし日の歌」、翻訳「ランボオ詩集」など。

【大岡昇平(1909~1988)】

小説家、評論家、フランス文学翻訳家。小林秀雄を通じ、中也と知り合う。

【小林秀雄(1902~1983)】

文芸評論家。古くからの友人として、中也から「在りし日の歌」の原稿を託され、

中也の没後、出版と紹介に努める。

【河上徹太郎(1902~1980)】

評論家。小林を通じ中也と知り合う。主な著作に「日本のアウトサイダー」など。

【山口県詩選】

昭和13年発行。中也や山頭火のほか、金子みすゞなどの県内出身者の作品を収録した詩集。和田さんの作品も掲載。

市広報番組

「和田健さんが語る」

私と山口ゆかりの文学者たち

ケーブルテレビで好評放映中！
※放映日時などは5ページ参照

市政トピックス



「市交通まちづくり委員会」から報告書が提出されました

7月24日、学識経験者・交通事業者・公募の市民などで構成される「市交通まちづくり委員会」が、より良い交通のあり方などについての報告書を市に提出しました。

報告書は、昨年5月から今年7月まで8回開催された委員会での検討内容を基に「交通結節点機能の強化」「利便性の高い基幹交通ネットワークの構築」「地域に相応しいコミュニティ交通の仕組みの構築」「市民誰もが安心・安全に外出できる交通環境の整備」「にぎわいを創出する交通まちづくり」の5項目について、提言しています。席上で市長は「報告書に基づき、市民が利用しやすい交通体系をしっかりと構築したい。交通面からまちづくりを進

めることで、まち全体が元気になるよう取り組んでいきたい」と語りました。市では今後、報告書を踏まえ、市民の誰もが移動しやすいまちづくりに向けた具体的取り組みを示す「市市民交通計画」を9月末までに策定します。



最終報告書提出の様子

市交通政策課

☎00663・934・2729

公州(コンジュ)市からジュニア交流隊が来山しました

8月2～5日の間、姉妹都市韓国公州市の中学生24人から成る「公州市ジュニア交流隊」が山口市を訪れました。

公州市との間の市民同士の交流を盛んにするため、平成7年から始まったこの事業では、毎年交互にそれぞれの市を訪問し合っています。

一行は、茶道の体験や国玉瑠璃光寺

五重塔の見学を通じ、山口の文化に触

れました。その後の交流会では、公州市の民族衣装を身にまとった伝統舞踊や、山口市の「よさこい」演舞が披露されるなど交流を深めました。市では、今後も国際交流を推進していきます。

市生涯学習課

☎00663・934・2806

「市内幹線交通活性化対策検討委員会」が行われました

8月9日、山口総合支所で「市内幹線交通活性化対策検討委員会」が開催されました。市の都市核間(山口・小郡地域)を結ぶ重要な路線となるJR山口線と路線バスの連携を強化し、相互の利用を促進するため、市と国が協働で設置した同会は、学識経験者や交通事業者、商業・観光団体などにより構成されています。

第1回目の今回は、座長の選出のほか、都市核間の公共交通を活性化するための課題の抽出が行われました。席上で市長は「市内外の発展につな

「第1回市住宅マスタープラン策定委員会」を開催しました

8月8日、山口総合支所で「第1回市住宅マスタープラン策定委員会」を開催しました。同委員会は、誰もが住み良い「住まい」や「まち」を作るため、住宅施策の観点から将来の目標や取り組みの基本的な方針、推進していく具体的な施策などを定める「住宅マスタープラン」について、市長から委嘱を受けた学識経験者等に幅広く意見を求め、調査・審議を行うものです。

席上で市長は「地域の特性に配慮した快適な住宅・住環境を推進する本計

がる山口・小郡両地域間の交通の連携強化を図る本委員会が、本市にとっても多いものになることを期待する」と述べました。

今後は、交通事業者への聞き取り調査や、山口・新山口両駅での乗り換え実態調査などを経て、来年の3月ごろをめどに報告書を作成します。これを基に、都市核間の交通を活性化するための具体的方策について、各関係機関と連携して取り組む予定です。

市交通政策課

☎00663・934・2729

画の策定に当たり、さまざまな分野からの専門的なご意見やご指導をいただきたい」と語りました。

今回は、委嘱状の交付や委員長の選出のほか、マスタープランの構成などについて諮問を行いました。

今後は年度中の計画の策定に向け、4回程度の委員会を開催し、住宅施策の動向や課題、理念や目標などについて審議する予定です。

市建築課

☎00663・934・2844

本年度の

重点 施策より

⑤ 進行中の平成19年度
の重点施策から、いく
つかをご紹介します。

「徹底した行財政改革による 持続可能な自治体づくり」

市では現在、歳入・歳出両面からの行財政改革に取り組んでいます。これは、国の行財政改革の動向を踏まえ、組織や事業のスリム化による経費節減や市税などの収入増に努めるもので、これにより多様化する市民ニーズに対応した行政サービスを提供するとともに、いかなる社会環境の変化にも対応できる自治体運営を目指します。

行政評価システム推進事業

厳しい財政状況の中、市民にとって本当に必要な施策・事業等の実施が求められています。そこで市では「市総合計画」等に基づき事業を実行し、その成果を指標に基づき年度ごとに評価して、それを次年度以降の事業の充実・見直しに活用していく仕組み(上図)づくりを行っています。



◆行政評価に基づく効率的市政の実現

「市総合計画」に体系付けられた施策・事業*等について、成果指標等を用いて客観的かつ厳格に評価します。その結果は、次年度以降の企画立案・予算編成・人事管理・組織管理に活用し、効率的・効果的な市政の実現を図ります。

◆行政評価の結果等の公表による市民との情報共有

行政評価の結果を市民に公表することで、市民との情報共有を図り、市民と行政との役割分担を明確にしていきます。

◆職員のレベルアップによる組織力の向上

職員一人ひとりが、市民の視点に立った事務事業の評価と改善を行うとともに、自ら問題を発見し分析するなどの政策を形成する能力を身に付けることを通じ、組織力の向上につなげます。

■「行政評価システム推進事業」への問い合わせ 市企画経営課 (☎083-934-2747)

「徹底した行財政改革による持続可能な自治体づくり」に関するその他の主な事業と問い合わせ

- ・行政改革調査研究事業
…市行政改革大綱を推進する事業
- 問い合わせ 市行革推進課 (☎083-934-2909)

※市総合計画に体系付けられた「施策」「事業」とは
施策…行政課題に対する具体的な取り組みのこと
事業…「施策」を実行するための手法・手段のこと

ご覧ください

山口市の広報番組 9月の放送予定です



ラジオ番組

シティ・インフォメーション

FM山口 毎週月・金曜日の
午前9時26分から4分間放送

やまぐちマイタウン

山口放送 (KRY)

毎週木曜日の午後1時40分
から5分間放送

発見! やまぐち

3コーナーで構成。人
やまちの魅力を紹介
する、市民参加型の
情報番組です。

山口ケーブルビジョン (12チャンネル)

■「このまちに愛たい」「infoやまぐち」番組表

曜日	9/1 (土) ~15 (土) ①	9/16 (日) ~30 (日) ②
月・水 金・日	7:35 *12:25 18:05 *22:10	7:35 12:05 18:05 21:50
火・木 土	*7:55 12:05 *18:25 21:50	

※「infoやまぐち」のみの放送 (10分)

「このまちに愛たい」 (20分)

- ① 「和田健さんが語る
私と山口ゆかりの文学者たち (後編)」
- ② 「生き生き元気に暮らしていくために
~介護予防~」

「infoやまぐち」 (10分)

1週間更新で、市からのお知らせを放映

「ごっぼうええのお〜」9/1~15 8:05~(15分)

市内のいいモノ、ヒト、トコロなどを
「ごっぼう」楽しくご紹介します。

やまぐち しぎ専科

市政のPRから地域情
報まで、生活に身近
な話題を幅広くお届け
します。

山口朝日放送 (YAB)

毎週水曜日午後1時55分から4分間放送

5日 「山口ゆらめき回廊」

12日 「ご存じですか? 介護相談員」

19日 「中也のいた風景」

26日 「ふるさと歴史散歩
~出土品から見る大内氏~」

私たちのまち



主に市政および市
からのお知らせを
分かりやすくお伝
えする番組です。

テレビ山口 (TYS)

毎週日曜日午前11時40分から4分間放送

2日 「創ろう! 守ろう!
みんなの公共交通」

9・16・
23・30日 「介護予防に向けて
運動機能ショート
プログラム事業」

まちづくり No.21

「小郡ウイークエンドアドベンチャー」ボランティアスタッフ



めざましスタイル

自然や文化や大人がお手本になって地域全体で子どもを心豊かに育むまち

徳光 輝子さん (小郡在住)

「小郡ウイークエンドアドベンチャー」ボランティアスタッフとしての企画・運営への参加や、特技のそろばんを子どもたちに教えるなど、さまざまな活動に取り組む徳光輝子さんに、お話を伺いました。

「小郡ウイークエンドアドベンチャー」

(あどべん)とは？

学校の週5日制導入をきっかけに「土曜日を有効に活用し、地域全体で心豊かな子どもを育てよう」と、地域の方とさまざまなことを体験し学ぶ小郡公民館主催の講座で、9年前から始められました。

サイクリングや水辺の教室、キャンプ、ヨット、登山、スキーなどの活動を、1年間を通じて月替わりで行っています。

今年は何人参加しているのですか？

小学4年生から6年生まで、66人が参加しています。

学年も学校も異なる友だちがたくさんで、日ごろの生活では体験できない活動をみんなで楽しんでいます。



水辺の教室では、四十八瀬川にすむ生き物を観察しました。



手づかみでアユを捕まえました！

あどべんではどのような活動を？
安全を守るほか、熱中症などの手当、着替えの用意など、子どもたちが行事を元気に楽しむための裏方をしています。



そろばんを子どもたちに教える徳光さん

世代を超えた交流の輪が、そろばんなど昔ならではのものを通じ、広がっていくといいですね。

これからの抱負を聞かせてください。
これからも「あどべん」やそろばんを教える活動が続けていきたいですね。子どもたちと一緒にいると楽しいし、元気をもらえます。おじいちゃん、おばあちゃんも、もしそろばんができるならお孫さんたちに教えてあげてほしいですね。子どもたちは計算が早くなり、褒められると自信が付きまします。おじいちゃん、おばあちゃんにとっても脳の活性化に役立ち、まさに「一石二鳥」です。

市民活動のカタチ
市民活動というと難しく感じる人も多いのではないのでしょうか。さぼらんてに登録している団体には、会則に基づき総会・理事会を行い、地域社会のために継続した組織体として活動を行っているNPO(非営利組織)から、自分たちの課題解決のために気の合う仲間同士で気軽に活動している団体まで、さまざまな形があります。一見仲良しグループのように

さぼらんてのつばき Vol.1
市民活動支援センター さぼらんて
道場門前一丁目2-19 TEL083-901-1166
FAX083-901-1165 http://www.saporant.jp/

企画
編集

市民まちづくり情報センター

info@ycnet.jp

やこねっと

☎090-7128-6018

☎083-989-4193



平井を明るく豊かにする会



代表 あらせ やすひで 荒瀬 安秀
 会員 13自治会 1,100人
 連絡先 平井747-8 (荒瀬様方)

「協働で創る景観文化」事業で、今年度の市の「市民活動交流事業補助金」交付団体に選ばれました。地区の住民や学生、事業所、行政と協力し、けやきの世話人になりたい人を募る「けやきのオーナー制」やワークショップ、シンポジウムなどを行います。

「平井を明るく豊かにする会」は、平井地区の田畑を潤す九田川(くくだん)を地区の住民できれいにしようと、31年前に結成されました。以来続けている河川の清掃に加え、地区内の交流を促進し、笑いをテーマに地区や大学の人材を発掘する事業「平井笑学村」では、自治会を通じて地区の各世帯に参加を呼び掛けてきました。現在は、平井地区の豊かな自然環境と景観を保つため、道路や公園の清掃活動、地区住民や学生、子ども会を対象と

した環境・景観ワークショップとシンポジウムなどを行っています。

中でも力を入れているのは、山口大学へと通じる「山大通り」で「けやき並木」の景観づくり。昨年は「けやきマップ」を作り、平井地区全戸と山口大学、商店、公民館に配布しました。また県の「やまぐち道路愛護ボランティア」に登録し、清掃作業などを行っています。けやき並木が歓迎や思い出の場所に、また地域にとつてのシンボルになるよう、これからも美しい景観を守り、大切に育てていきたいです。



みんなで力を合わせて、けやきや花壇の世話をしています。



葉の緑がまぶしい、山大通りのけやき並木

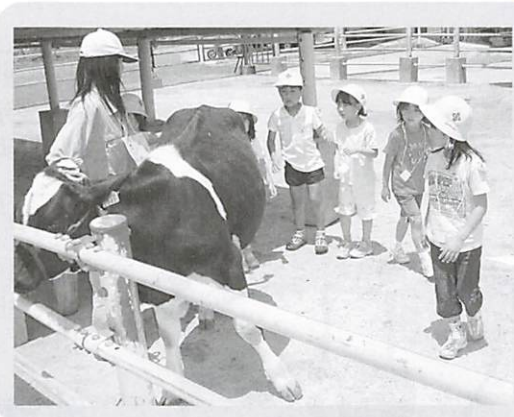


通し番号を振ったけやきや事業所、山大通りの四季などをまとめた「けやきマップ」を地区内に配布しました。



上郷小学校

●校区 / 小郡上郷地区



6月に行われた1年生と山口農業高との交流学習。高校生のお兄さん、お姉さんと一緒に、牛や豚、ひよこたちとふれあい、楽しい時間を過ごしました。

教育目標「上郷のよいこを育てる」のもと、児童372人が元気に学ぶ上郷小学校。全学年にわたる班活動、朝の時間を重視した読書や計算、漢字練習などに取り組んでいます。7月に行われた県大会で、吹奏楽部が初めて最高賞の特賞に輝き、10月の中国大会に向け、部員たちは練習に励んでいます。

地域の「人ものこと」を活用した体験学習も盛んで、山口農業高との交流学習では、野菜の収穫や家畜とのふれあいなどを通じ、命の大切さを学んでいます。

上郷小の児童たちは、これから学校のシンボル「なぎの木」や郷土の偉人などについて学ぶことで、ふるさとを愛する心と地域の誇りをはぐくんでいきます。

見えても、自発性・多様性・先駆性のきらめきは天下一品。そんな身近な活動が種々の課題を解決し、誰もが暮らしやすい山口を実現していくのだと確信しています。

みなさんも、まずはできることから一歩を踏み出してみませんか。

さぼらんでの
オススメ機能

●事務局代行
団体が行う講座やイベントの受付代行を行います。

●持ち込みイベント
商店街という立地条件を生かし、市民に活動を広くPRするためのさまざまな講座やギャラリ、サロンを開催できます。

●会議室利用
25人収容の会議室のほか、4人程度の小さなテーブルが数台あり、打ち合わせなどにも最適。託児室やワークスペースもあります(会議室は予約制)。

お知らせ

敬老金を支給します

■対象(すべてに該当する方)

- ・6月1日時点で、山口市に住民登録・外国人登録をしている方
- ・平成19年4月2日(平成20年4月1日の間に、88歳(米寿)、100歳(上寿)の誕生日を迎える方)

支給方法

9月中旬に、民生委員または市職員を通じて、訪問等により支給

※80歳、90歳、99歳、101歳以上の方への敬老金は、廃止します。

問 市高齢障害課
(☎0833・934・2793)

市職員を騙る詐欺にご注意を

市の税務職員を名乗り、電話または訪問により「税金、保険料に未納があるので支払ってください」と現金を請求する詐欺行為が発生しています。市の職員が税金の徴収に訪問する際

には、必ず身分証明書を持参します。身に覚えのない請求を受けたり、疑わしい場合には、証明書の提示を求め、市収納課までお問い合わせください。

問 市収納課 (☎0833・934・2739)、市消費生活センター (☎0833・934・7171)

市施設の指定管理者を募集します

市では、市有施設の管理・運営を民間事業者等へ委託する「指定管理者制度」を導入し、市民サービスの向上や経費節減などを図っています。今年度は、下記施設の指定管理者を募集します。

指定期間

平成20年4月1日(平成23年3月31日)

募集要項(仕様書の配布)

9月3日(月)から各担当課にて配布

※市ホームページ(表紙参照)で取得可

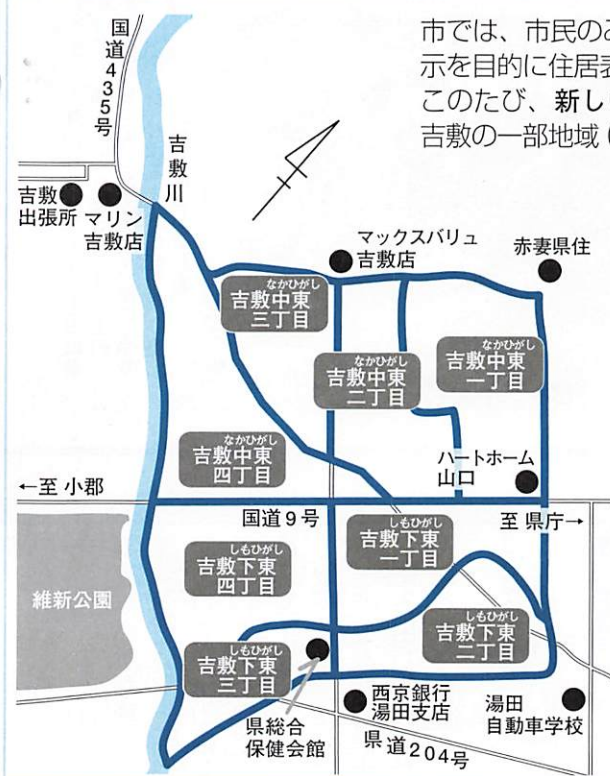
施設の名称	受付期間	問い合わせ
山口勤労者総合福祉センター	9月25日(火)～10月12日(金)	市商工振興課 083-934-2719
市スポーツの森	10月1日(月)～15日(月)	市スポーツ振興課 083-934-2873

- 山口総合支所 〒753・8650 亀山町2・1
- 小郡総合支所 〒754・8511 小郡下郷609・1
- 秋穂総合支所 〒754・1192 秋穂東6570
- 阿知須総合支所 〒754・1292 阿知須2743
- 徳地総合支所 〒747・0292 徳地堀1744

吉敷の一部地域が新しい町名になります

11月23日(金・祝)から

市では、市民のみなさんにより分かりやすい住所の表示を目的に住居表示整備事業を行っています。このたび、新しい住居表示を11月23日(金・祝)から吉敷の一部地域(左図)で実施します。



これまで「吉敷●●番地○○」と表示していた住所を、住居表示実施日以降は、「新しい町名+街区符号+住居番号」の組み合わせで表示します。

例) 吉敷下東一丁目内の住居表示

- ・2階建てまでの建物の場合
→吉敷下東一丁目●番●号
 - ・3階建て以上の中高層住宅の場合
→吉敷下東一丁目●番●-●●●号
- ※ただし、建物の構造により住居番号の付け方が異なる場合があります。

問い合わせ

市生活安全課 (☎083-934-2986)

児童巡回相談

養護、保健、心身障がい、非行、育成しつけに関する相談に、児童心理司や児童福祉司が無料で応えます。

日時 9月20日(木)午前10時～午後3時

場所 名田島公民館

対象 18歳未満の児童、乳幼児の保護者

申込 9月14日(金)までに、市児童家庭課(☎083・934・2797)

9月21日(金)～30日(日)は秋の全国交通安全運動

「住みよい山口いつも心に交通安全」を交通安全主入口ーガンに、次の重点目標

に取り組みます。

重点目標

- ・高齢者の交通事故防止
- ・飲酒運転の根絶
- ・夕暮れ時と夜間の歩行
- ・中・自転車乗用中の交通事故防止
- ・後部座席を含むシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底



【県警音楽隊と交通安全市民の集い】

日時 9月22日(土)午後2時から

場所 県総合保健会館(吉敷3325-1)

内容 中国5県交通功労者等の表彰、県内出身の兄妹デュオ「マウンテンマウス」、県警音楽隊の演奏、カラーガードによるドリルほか

定員 800人(先着順)

料金 無料

山口警察署交通課(☎083・924・0110)、市生活安全課(☎083・934・2765)

9月9日は救急の日 急な病気やけがに備えて確認しましょう

【休日や夜間に体調が悪くったら】

まずかかりつけ医に連絡して受診しましょう。かかりつけ医に連絡が取れない場合は、休日当番医、休日・夜間急病診療所(市報毎月15日号に掲載)で受診しましょう。

※メールマガジンで休日当番医等の情報を毎週配信中。市ホームページ(表紙参照)から登録できます。



携帯電話用QRコード

問い合わせ 市健康増進課(☎083-921-2666)

【正しい救急車の利用を心掛けましょう】

救急車は、けがや急病などで緊急に病院へ搬送しなければならない傷病者のためのものです。緊急ではないのに救急車を要請すると、本当に救急車を必要とする事故が発生した場合、救える命が失われる恐れがあります。緊急性がなく、自分で病院に行ける場合は、一般の交通機関等を利用してください。

【救急車を呼ぶときには】

- 救急車が必要な場合には、慌てず119番に通報し、次の質問に答えてください。
 - 救急・火災のどちらの通報か。
 - 救急車が必要な場所(分からない場合、建物の名称・階・部屋番号など)
 - 交通事故の場合には、場所・道路名(上り下り)・目標物・交差点名など
 - 患者の人数と状態
 - 通報者の氏名と電話番号
- ※119番の受付員から電話で応急手当(患者に対する手当)をお願いする場合がありますので、ご協力をお願いします。

【救急現場への消防車両の出動について】

交通量の多い道路やエレベーターのない3階建て以上のアパート等が救急現場の時、二次被害の防止や患者のより安全な搬送などのため、救急隊とは別に消防隊が出動し、救急活動を支援します。

【あなたの応急手当が命を救います】

救急車が到着するまでの間、一般の方が行うことができる応急手当として「AED(自動体外式除細動器)」の使用が認められました。「AED」とは、コンピューターにより傷病者の心臓のリズムを自動的に調べ、必要に応じて電気ショックを与え、心臓のリズムを正常な状態に戻すものです。市消防本部では、人工呼吸や胸骨圧迫(心臓マッサージ)などの応急手当に加えて、AEDの取り扱いを含めた救命講習を実施しています。受講を希望する方は、下記までお問い合わせください。

問い合わせ 市消防本部警防課(☎083-932-2602 内☎083-932-2003)

漏水の発見にご協力ください



漏水はわずかでも、道路の陥没など二次災害の原因となります。これを防止するため、市では日ごろから計画的に水道管の漏水調査を行っています。

調査に当たっては、市が発行した身分証明書を持った委託業者が伺い、宅地内や道路上で漏水の有無を確認します。留守の場合でも屋外にメーターがあるときには、調査を行うことがありますので、ご理解、ご協力をお願いします。晴れた日でも路面がぬれていたり、乾いている水路に水がたまっていると、漏水の可能性があります。「おかしいな」と思ったらご連絡ください。※市では、家庭を訪問してのアンケート調査や水質検査、浄水器の販売・あっせん、水道管の清掃などは行っていません。

景観に関する「市民アンケート」にご協力を

市では9月上旬、無作為抽出した市民約2500人を対象に、市内の景観への意識等についてのアンケートを実施します。

みなさんからの意見は今後、市の「景観計画」等の策定に生かしていきますので、ご協力をお願いします。

市都市計画課(☎083・934・2801)

ていませぬ。悪質な訪問販売にご注意ください。

山口北部地域…市業務課(☎083-933-6671)、川西・川東地区、小郡、秋穂、阿知須地域…市営業課(☎083・973・8184)

9、10月は「動物の飼い方 マナーアップ強化期間」

ペットの飼い方について、もう一度考えてみましょう。

【正しいしつけの推進】

- ・動物の本能や習性を理解しましょう。
- ・ペットに人のかかわり方を覚えさせましょう。

【飼い主のマナーアップ】

- ・散歩する時は必ずリードなどでつなぎ、他の人や物を傷つけたり、被害を加えないよう気を付けましょう。
- ・飼育場所を清潔にし、においや鳴き声などで近所に迷惑を掛けないようにしましょう。

- ・繁殖を望まない場合は、不妊・去勢処置をしましょう。

【犬について】

- ・生後3カ月以上の犬は、必ず登録し、毎年1回の狂犬病予防注射を受けさせましょう。
- ・かむ癖のある犬は、口輪を掛けるなどの措置をとりましょう。
- ・登録の鑑札は首輪等に付けましょう。

【猫について】

- ・できるだけ室内で飼育しましょう。
- ・飼い猫であることを明らかにするための処置を講じましょう。
- ・野良猫に無責任にえさを与えないようにしましょう。

☎市環境保全課 (☎0833-941-2176)、市南部衛生課 (☎083-9733-8813)

3・9733・8813

「家電4品目」の リサイクル について

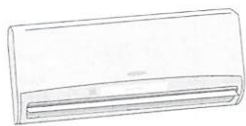
家電製品には、鉄・アルミなどの有用な資源が多く使われています。このため「家電4品目」については「特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)」により、排出者(消費者)、小売業者、製造メーカーが連携してリサイクルに取り組むこととされています。今回は、問い合わせの多い家電4品目のリサイクルについてお知らせします。

■市ごみ対策課(☎083-941-2185)



Q 「家電4品目」って何?

A 「家電リサイクル法」の対象となっている、家庭用のエアコン、テレビ、冷蔵庫(冷凍庫)、洗濯機の4品目のことです。



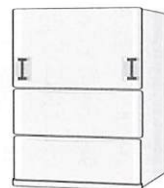
エアコン
壁掛型、据置型、窓設置タイプ
(ガスヒーターエアコン、ハイブリッドエアコンを含む)



テレビ*
ブラウン管式テレビ(ビデオ内蔵型を含む)



洗濯機
洗濯乾燥機を含む



冷蔵庫(冷凍庫)
ワイン庫を含む

※パソコンのモニターは、「パソコンリサイクル制度」の対象です。詳細は各メーカーへお問い合わせください。パソコンは、個人情報など重要な情報が残らないよう、適正にリサイクル処理しましょう。

Q リサイクルの方法は?

A 販売店に引き取ってもらう方法と、自分で引取場所へ運ぶ方法があります(市では家電4品目の収集は行っていません)。

①販売店に引き取ってもらう方法
購入したお店や、買い換えるお店で引き取ってもらう(販売店にリサイクル料金と運搬料金を支払ってください)。



②自分で運ぶ方法

郵便局でリサイクル料金を支払い、メーカー指定引取場所または市の最終処分場へ持ち込む(市の最終処分場の場合、リサイクル料金とは別に1,500円掛かります)。



※メーカー指定引取場所は、製造メーカーによって異なります。市に問い合わせいただくか、市ホームページ(表紙参照)でご確認ください。

リサイクル料金
参考 エアコン…3,150円/テレビ…2,835円/
冷蔵庫(冷凍庫)…4,830円/洗濯機…2,520円
※メーカーにより異なる場合があります

家電4品目・パソコンのリサイクルについての詳しい内容やごみについてのさまざまな質問は、気軽にお問い合わせください。

市ごみ対策課からの お知らせ

● 台風の接近に伴う資源物ステーションの一時閉鎖について

台風の接近により、緊急に資源物ステーションを一時的に閉鎖する場合がありますので、その際には後日改めてご利用ください。

■ 問い合わせ 市周布町資源物ステーション…市ごみ対策課(☎083-941-2186)
小郡・秋穂両総合支所資源物ステーション…市南部衛生課(☎083-973-8136)





大正10年(14歳ころ)弟たちと



「中也のいた風景」

私は希望を唇に噛みつぶして
私はギロギロする目で諦めてみた……
噫、生きてゐた、私は生きてゐた!

「少年時」より

中也は男ばかり6人兄弟の長男で、家族の中でも特別な存在でした。父謙助は就寝前によく、「長男であることを忘れてはならんぞ」と言っていたそうです。ほかの兄弟は「しろちゃん」「ごろちゃん」と呼び合いましたが、中也だけは「兄様」でした。大正10年、養祖父が亡くなり、謙助は中也に書かせた「中原家累代之墓」を墓石に刻みました。弟思郎は「まぎれもなく、中也は『長兄』であった」と記しています。

問い合わせ 中原中也記念館 (☎083-932-6430)

ビジネスセミナーの開催業務を委託します

起業に関心のある若者や経営課題を持つ起業家を対象とした、ビジネスセミナーの開催業務を委託します。業務内容や応募資格・方法は、募集要項をご覧ください。

※募集要項・応募様式は、市商工振興課に備え付け。市ホームページ(表紙参照)からも取得可。

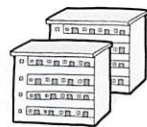
■受付期間 9月3日(月)～10月1日(月)

■候補者の選定 10月10日(水)に審査委員会を開催し、決定する予定です(予定)

業務名称	委託期間
若者起業啓蒙(もう)セミナー開催業務	契約締結日～平成20年1月末日
起業家スキルアップセミナー開催業務	契約締結日～平成20年2月末日

レゼンテーションション、質疑応答有)。詳細は別途応募者に通知します。
■申込 市商工振興課(山口総合支所2階) ☎083・934・2801(2)

市営住宅 入居者の募集



申込資格(すべてに該当する方)

住宅に困っていることが明らかかな方/現に同居または同居しようとする親族がある方(2カ月以内に婚姻する予定の方も含む)/法で定める収入基準に該当する方(一般世帯は月額20万円以下、小学校就学前世帯、高齢者・障がい者等の世帯は26万8000円以下)

※単身者、どちらかが65歳以上の高齢者夫婦だけの世帯、母子2人世帯は、

3DKに申し込みできません。

持参品

世帯全員の本籍地
住民票(続柄・本籍地の記載のあるもの)、世帯全員の平成19年度所得証明書、家賃支払証明書等

団地名(所在地)	間取り	家賃	戸数
宮ノ前住宅(小郡上郷3147-8)	3DK	10,500円～23,100円	各1
ひがし東津住宅(小郡下郷2884)		16,500円～36,200円	
えんがし円座住宅(小郡上郷1500-113ほか)		16,000円～42,700円	
宮ノ原住宅(小郡上郷1329-1)	2DK	3,700円～15,400円	4

※応募者多数の場合、9月21日(金)に小郡総合支所2階第3会議室で、公開抽選を行います。

■申込 9月3日(月)～12日(水)の間、直接小郡総合支所施設維持課(2階) ☎083・973・8162

菜香亭探訪研修会「大内義隆最期の道を通る」

大内義隆生誕500年を記念し、大内氏館跡から義隆が自刃した長門大壺寺までの史跡を探訪するバスツアーです。

■日時 9月30日(日)午前9時～午後5時

■集合場所 市菜香亭

■対象 市民25人(先着順)

■参加費 1500円(昼食代として)

■申込 9月2日(日)～27日(木)の間に、電話で市菜香亭(天花二丁目2-7) ☎083-934-3331(2)

市史編さん講演会 (萩藩の本・支藩関係)

萩本藩と支藩との関係を軸に、幕藩体制成立期の社会体制の成り立ちと特質に迫ります。講演前に昭和初期の山口の映像を上映します(入場無料)。

■日時 9月8日(土)午後2～4時

■場所 ニューメディアプラザ山口(熊野町1-10)

■講師 田中誠二氏(山口大学教授)

■定員 200人(先着順 申込不要)

■市文化政策課市史編さん室 (☎083・934・0200)

わが家の「しつちよる鍋」コンテスト

新「山口市」誕生を記念して作られた鍋料理「しつちよる鍋」を基にした、手軽な家庭用レシピを募集します。

■対象 市内在住の方(団体の申込可。プロの方は不可。応募は1人1点)

■条件 ①地物産品の団子を入れること ②季節の地物野菜等を使用し、材料が入りやすいこと ③しょうゆ味 ④家庭料理として手軽に作れること

■申込 9月30日(日・必着)までに、所定の申込書で山口名物物理創出推進会議(山口商工会議所内) ☎083・935・2300

※詳しくはホームページをご覧ください。☎ http://www.yamacci.or.jp/

介護予防に向けて 運動機能ショートプログラム

運動機能の低下は、要介護状態に陥る大きな原因となります。市では、介護予防の大きな課題の一つとして、転倒予防に取り組んでいます。その一環として9月から開始する、適切な運動を通じて運動機能の改善を図る「運動機能ショートプログラム事業」について紹介します。



運動機能チェック

あなたは大丈夫？

～運動機能が低下していませんか～

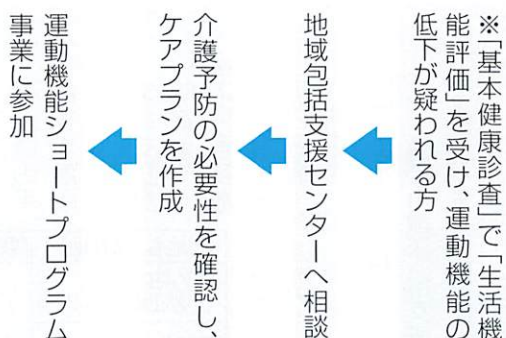
右の5項目のうち、3つ以上に心当たりがある方は要注意！

基本健康診査を受診するか、最寄りの「地域包括支援センター」にご相談ください。

- 階段を上るのに、手すりなどを伝っている
- いすから立ち上がる時、何かにつかまる
- 15分程度、続けて歩くことが難しい
- この1年間に転んだことがある
- 転倒に対する不安が大きい



運動機能ショートプログラム参加までの流れ



問い合わせ

市地域包括支援センター（☎083・934・2758）、小部分室（☎083・974・5128）、徳地分室（☎0835・52・0670）

自分らしく「生き生き」と暮らすこと、それを実現するための手段が介護予防です。
年齢とともに運動機能が衰えるのは仕方のないことだと思われがちですが、年齢にかかわらず、適切な運動により運動機能は向上できます。
市では「基本健康診査」で運動機能の低下が疑われた65歳以上の方を対象に、個々の高齢者に適した運動プログラムを作成し、サービスを提供する「運動機能ショートプログラム事業」を、9月から実施します。要介護状態に陥ることを防ぐためにも、この事業を利用して体を動かしてみませんか。

運動機能ショートプログラム事業者一覧

事業者名	プログラムの内容・特徴
おさばファミリークリニック	柔軟体操、腰痛予防体操、筋力向上体操、トレーニングマシン
介護老人保健施設アークス	ゴムバンドを使ったつまづかないための運動
済生会山口地域ケアセンター	バランスボールを使った運動、筋力向上体操
丘病院	柔軟体操、トレーニングマシン
山口あかり園デイサービスセンター	柔軟体操、ゴムバンドを使った運動
夢のみずうみ村	水中ウォーキング
スポーツクラブNAP(ナップ)	水中ウォーキングまたはダンベル・チューブ・ボール運動
SSS(スリーエス)スポーツプラザ	水中ウォーキングまたはいす体操
なぎの木在宅ケアセンター	柔軟体操、ゴムバンドを使った運動
みのり苑	柔軟体操、バランス運動、有酸素運動
あいあい山口	トレーニングマシンまたはゴムバンドを使った運動
阿知須同仁病院通所リハビリテーション	柔軟体操、バランス運動、有酸素運動
阿知須共立病院通所リハビリテーション	いす体操、転倒予防体操、腰痛予防体操、尿失禁予防体操
ニューライフあじす	いす体操、失禁予防運動
フィカルあじす	柔軟体操、呼吸法を取り入れた筋力向上体操、トレーニングマシン

※「基本健康診査」と「生活機能評価」

基本健康診査は、それぞれの実施医療機関で受診する健康診断です。65歳以上の方には、介護予防事業を効果的に行うため、体や精神の働きに加え、日常動作や家事・職業能力、家庭や社会での役割など、人が生きていくための機能全体を評価する「生活機能評価」を行います。

- 実施期間 10月末まで
- 実施医療機関 市民健康づくりカレンダー（市報3月15日号と同時配布）に記載
- 料金 2,000円（70歳以上の方等は減額制度有）
- 問い合わせ 市保健センター（☎083-921-2666）

全国への切符賭け、水面上の熱い戦い

「全国金魚すくい選手権大会予選山口市大会」が開催され、3分間ですくう金魚の数を競いました。1匹もすくえない大人も多い中、見事な手さばきで33匹もすくう小学生も。「小・中学生」「高校生・一般」各部の上位2人ずつが8月に奈良県で行われた全国大会に出場し、市内の三坂直子さん(10歳)が「小中学生の部」で、見事準決勝に駒を進めました。(7月29日)



ちょうちんの^{あか}灯り幻想的に

毎年8月6・7日に行われる山口の夏の風物詩「山口七夕ちょうちんまつり」。今年も多くの方が訪れ、ちょうちんに明かりを灯したり、紅ちょうちんで彩られた商店街や山口サビエル記念聖堂を背景に「ちょうちんツリー」をカメラに納めたりと、幻想的な景色を楽しんでいました。(8月7日)

S Lの運転席に乗ったよ

「やまぐちS Lフェア」が新山口駅転車台付近で開催され、大勢の家族連れや鉄道ファンでにぎわいました。中でも人気が集まったのは、実物のS Lの運転席に乗ることができるコーナー。子どもたちは釜に石炭をくべるなど、機関士の気分を味わっていました。(7月29日)



シャッターチャンス!

7・8月の主なできごと

見て!こんなに捕まえたよ!!

「きつらサマーカーニバル」の一環として、すっかり恒例となった魚のつかみ捕りイベント「おさかな天国in月の海」が、きつら公園で行われました。参加した小学生たちは、スタートの合図で一斉に海に駆け込み、夏の日差しの下、大物を捕まえようと一生懸命。捕まえたタイやカレイなどを、友だち同士で得意気に見せ合っていました。(8月4日)





徳地の夏の風物詩「とくち夏祭り花火大会」が、出雲台橋付近で開催されました。河原でバーベキューを楽しむ家族連れや夕涼みを兼ねた浴衣姿の見物客らは、佐波川からの心地良い涼風の中、夜空を彩る約2000発の美しい花火に歓声を上げていました。(8月4日)

徳地の夜空を美しく飾る大輪の花



5年ぶり復活の趣きある新能

大殿の野田神社能楽堂で、5年ぶりとなる「山口新能」の公演が行われました。市の文化財に指定されているこの能楽堂は、昭和11年に明治維新70年を記念し、旧長州藩 毛利家が神社に寄付したものです。詰め掛けた約800人の来場者は、歴史の重みを感じる舞台上で演じられる能に、盛んな拍手を送っていました。(8月5日)



夏休みの宿題 できた？

夏休み中の小学生を対象に、秋穂公民館主催の「木工とんかち教室」が秋穂中で開かれました。初めは勝手が分からない様子でしたが、木工所の方の丁寧な指導を受け、慣れない手付きながらも熱心に取り組む子どもたち。自分だけの小物入れや本立てなどを完成させ、とっても満足そうでした。夏休みのいい思い出も作れたかな？(7月26日)

大暑の川辺を彩る 「小郡音頭」

小郡の夏を踊りや花火で華やかに彩る「ふしの夏まつり」が今年も盛大に開催されました。花火大会に先立つ総踊りでは、多くの観客が見守る中、艶やかさの中に慎ましさをたたえつつ舞う踊り手たちの間に、世代を超えた交流の輪が広がりました。(7月28日)



イベントカレンダー 9月10日

※開催場所・時間など詳細はお問い合わせください。

開催日 (曜日)	イベント名(開催地域) 問い合わせ先(電話番号)
	畑谷友幸×藤若由夏 写真展 「メッセージ」(～10日) (山口) 大路口ビエ (☎083-920-9220) 長期展示作品シリーズ 「VP3L(ブイピースリーエル)」 (～11月26日) (山口) 山口情報芸術センター (☎083-901-2222) 特別企画展 「小林秀雄と中原中也」 (～24日) (山口) 中原中也記念館(☎083-932-6430)
1 (土)	「小林秀雄と中原中也」 ミニセミナー (山口) 中原中也記念館(☎083-932-6430) 三和児童館夏祭り (山口) 三和児童館 (☎083-922-7055) 市民体育大会 (各地域) 市スポーツ振興課 (☎083-934-2874)
2 (日)	 山口市小中学生囲碁大会(小郡) 事務局 (☎083-972-1441)

	市史「史料編」編さん講演会5 「萩藩の本・支藩関係」 (山口) 市文化政策課(☎083-934-0200) 「中原中也の会」大会 (山口) 事務局 (☎083-932-6430) 山口ゆらめき回廊 (山口) 山口商工会議所 (☎083-925-2300)
8 (土)	 ふしの川漁協まつり (山口) 榎野川漁業協同組合 (☎083-922-3537) 「中原中也の会」セミナー (山口) 事務局 (☎083-932-6430)
9 (日)	バードウォッチング入門～秋の渡りが始まるよ～ (阿知須) きらら浜自然観察公園 (☎0836-66-2030) 中原中也生誕百年記念 NHK子ども広場2007 (山口) NHK山口放送局 (☎083-921-3733)
16 (日)	癒しの森へようこそ! 健康増進編 (徳地) 市林業振興課(☎0835-52-1122)

17 (月・祝)	北方八幡宮例祭 (阿知須) 北方八幡宮 (☎0836-65-2202)
22 (土)	県警音楽隊と 交通安全市民の集い (山口) 山口警察署交通課 (☎083-924-0110) 山口ゆらめき回廊 (山口) 山口商工会議所 (☎083-925-2300)
23 (日・祝)	山口市民文化祭(～24日) (山口) 市文化政策課(☎083-934-2718) 企画展「私の好きな中也の詩」 (～12月16日) (山口) 中原中也記念館(☎083-932-6430) 常設テーマ展示 「中原中也とフランス文学」 (～平成20年2月17日) (山口) 中原中也記念館(☎083-932-6430)
27 (木)	きららの日 (阿知須) 道の駅「きららあじす」 (☎0836-66-1001)
30 (日)	アートふる山口(～7日) (山口) 実行委員会 (☎083-920-9220)
10/6 (土)	 伝承センターものづくり体験 (～7日) (山口) 伝承センター(☎083-928-3333)

表紙写真から

「きららふれあいサポーター」は、
 随時スタッフを募集しています！
 ■問い合わせ 道の駅「きららあじす」
 (☎0836-66-1000)

特産かぼちゃ「くりまさる」の栽培体験など「道の駅「きららあじす」」を中心とした地域の交流・体験事業を企画・運営するボランティア「きららふれあいサポーター」。地域の温もりを大切に、手づくりの企画を精力的に行う団体を立ち上げたのが、伊藤貴子さんです。

「県外の大学に在学中、授業を通じ、その地域の人々の地元に根付くものへの熱い思いを感じました。今は、地域のみならず、のかかわりから、昔ながらの知恵などを教わる仕事に就け、幸せですね」と、地元道の駅で働こうと思ったきっかけを語ります。「数多くの地域の良さを残していくきっかけに、たくさんの人に阿知須のことを知ってもらいたい」と、サポーターを募集すると、市内外から多くの応募がありました。やりがいを感じる時は？との問いに「参加者から『食べ物大切さなど、家族の会話がぐんぐん増えた』など聞き、その方の人生にかかわれたと感じた時かな」と、誰にも気さくに話しかける、その明るい笑顔で答えられました。



くりまさる収穫の様子

